

株式会社 チャイルド本社

IBM i (AS/400)の販売管理システムを短期間でオープン化 ブラックボックス化された処理を可視化、内製が可能となり改修コストを大幅削減

チャイルド本社は、「チャイルドブック」を中心とする月刊保育絵本の出版、および保育教材・用品の企画・開発など、幼児教育分野のパイオニアとして発展を続けてきた。現在では、全国をカバーする約100カ所の販売店・営業所による直販ネットワークを通じて、幼稚園・保育所などの多様なニーズを満しながら、幼児教育の発展・向上に貢献している。同社では、IBM i (AS/400)上で販売管理システムを構築し、代理店向けシステムや顧客から直接注文を受けるWeb受注システムを連携させて運用してきた。しかし、システムは改修を重ねるうちにブラックボックス化し改修コストが増大。そこでコスト削減のため、システムのオープン化に着手。そこで、新たに連携の仕組みを整備するため「ASTERIA Warp Core」を導入。オープン化の推進により、システムの拡張性を向上。システム連携にかかわる改修の内製化が可能となり、コスト削減などの成果が得られている。

導入背景

- IBM i (AS/400)ベースでの販売管理システムの運用は、今後求められるシステムの拡張に向けた柔軟性が得られず、オープン化が課題となっていた
- 従来のルート営業に加え、ECサイトを通じたビジネスの拡大を計画。基幹システムなど周辺システムとの連携基盤整備の重要度が高まっていた
- VBScriptで記述した連携プログラムは、長年にわたって改修が重ねられており、ブラックボックス化が進行。改修コストや依頼する際の工数が課題に

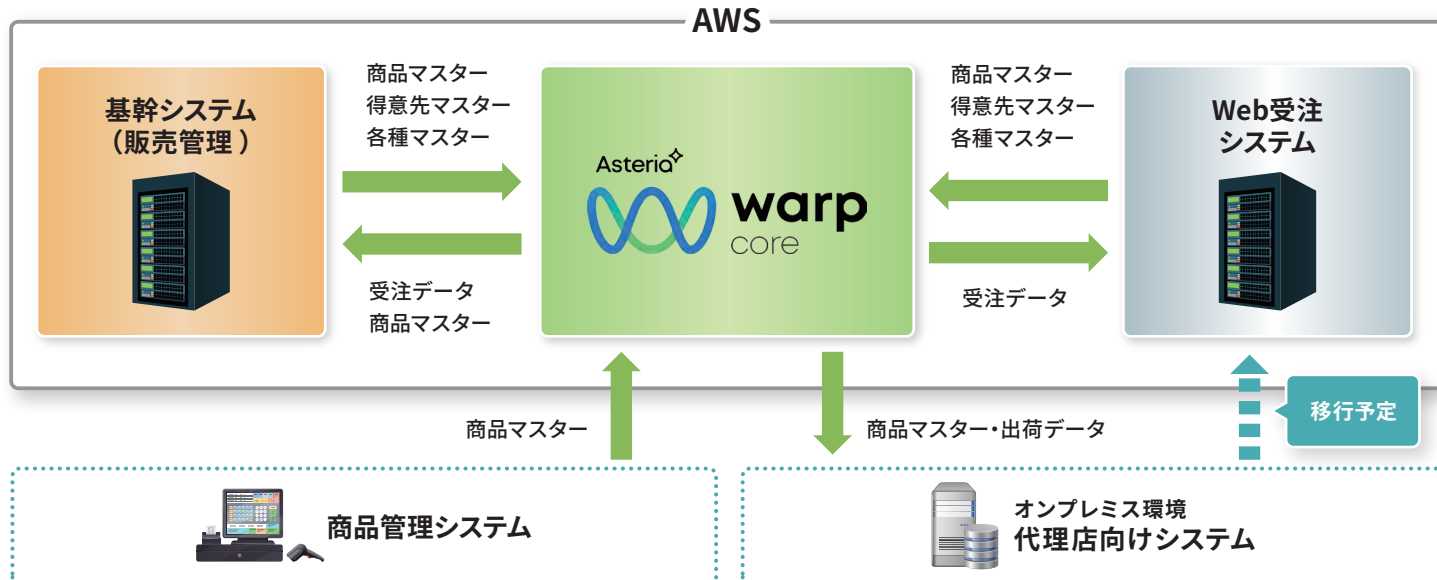
選定ポイント

- 多様なシステムやデータベースと接続できるアダプターが充実しており、専門的な知見がなくても、容易に連携処理の開発が可能
- GUIベースでの開発のため、連携処理の可視性も高いことからメンテナンス対応なども容易
- 今回のプロジェクトを支援したSIパートナーであるリコージャパンから、実績豊富なツールとして強く推奨された

効果

- 初期開発では、SIパートナーのSE1名で、4つのシステムを連携する26本のフローを3カ月で構築。その後のメンテナンスや拡張は全て内製化
- VBScriptによる実装でブラックボックス化していた連携処理が可視化され、業務プロセスが容易に把握できるようになった
- 内製化により、運用開始後の軽微な改修や新たなニーズに対する連携処理開発を外注するコストを削減

システム概要



ユーザーの一言



直販の拡大を念頭に、販売管理システムの拡張性の向上に向けて取り組んだ今回のプロジェクトでは、タイトなスケジュールのなかでノーコードを駆使し、オープン化を実現できました。VBScriptで記述された既存のシステム連携から新たな連携処理を実装する中で業務プロセスの可視化、棚卸しができ、慣例的な業務の見直しにも役立ちました。また、今後の業務改善に伴う連携システムの改修を、SIパートナーに依存することなく、自社による内製化でこなしていける体制が整いました。

株式会社チャイルド本社 システムプロモーション部 部長 木村 三津雄 様
白石 光治 様・嶋田 和大 様
リコージャパン株式会社 久米 将 様・川田 哲司 様・奥平 健一 様

User Profile



チャイルド本社

所在地：東京都文京区小石川5-24-21

会社概要：「チャイルドブック」を中心とする月刊保育絵本の出版、および保育教材・用品の企画・開発などを通じて、幼稚園・保育所・認定こども園の多様なニーズに応えている

業種：出版業

URL：https://www.childbook.co.jp/